

令和7年4月23日  
九州地方整備局  
有明海沿岸国道事務所

ありあけかいえんがん

## 有明海沿岸道路 国道208号

おおかわさ が

もろどみ

かわそえ

## 大川佐賀道路 諸富IC～(仮称)川副IC間が

## 令和8年度に開通します！

おおかわさ が

みいけ

○大川佐賀道路は、重要港湾三池港、九州佐賀国際空港などの広域交通拠点及び有明海沿岸の都市群を連携する高規格道路有明海沿岸道路の一部を構成する道路です。

もろどみ

かわそえ

○この度、諸富IC～(仮称)川副IC間(延長1.1km)において、軟弱地盤対策工事が概ね完了し、残る工事工程を精査した結果、令和8年度に開通する見通しとなりましたので、お知らせいたします。

○引き続き、一日も早い開通に向け、工事を推進してまいります。

○ 開通により期待される主な効果

- ・ 広域交通ネットワークの形成
- ・ 沿線開発の加速
- ・ 災害時の代替路

### 【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 有明海沿岸国道事務所

技術副所長 高田 英二

たか た えいじ  
ならはら しんすけ

工務課長 檜原 伸介

電話 0944-74-2930 (代表)

URL : <http://www.qsr.mlit.go.jp/arien/>

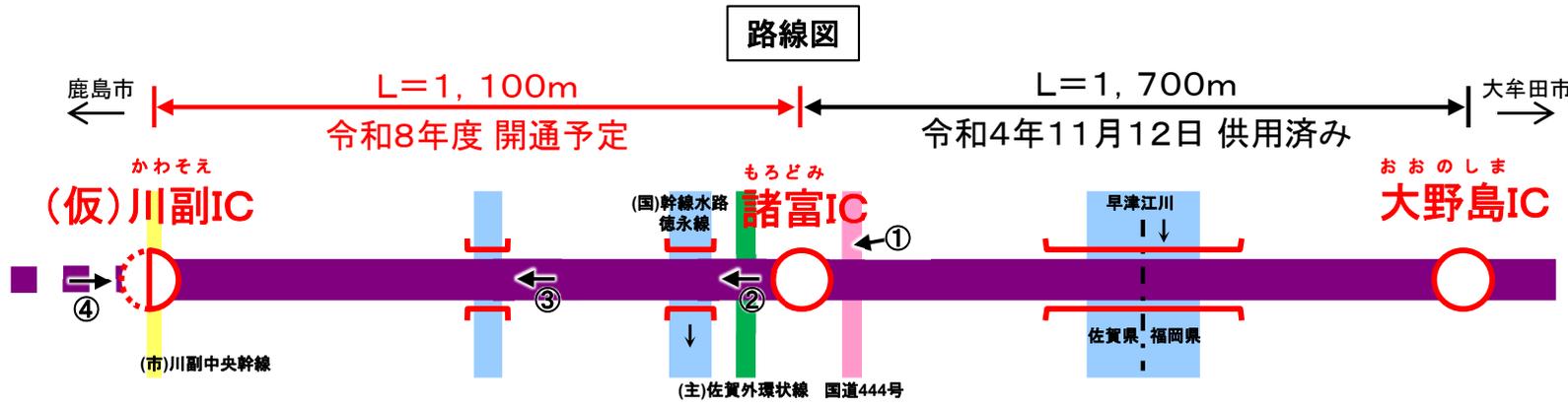
# 有明海沿岸道路 大川佐賀道路 事業概要

○大川佐賀道路は、重要港湾三池港、九州佐賀国際空港などの広域交通拠点及び有明海沿岸の都市群を連携する高規格道路  
有明海沿岸道路の一部を構成する道路です。

○今回の開通により、「広域交通ネットワークの形成」、「沿線開発の加速」、「災害時の代替路」の効果が期待されます。



開通区間	(自) 佐賀県佐賀市諸富町大字為重 (至) 佐賀県佐賀市川副町大字福富
開通延長	1.1 km



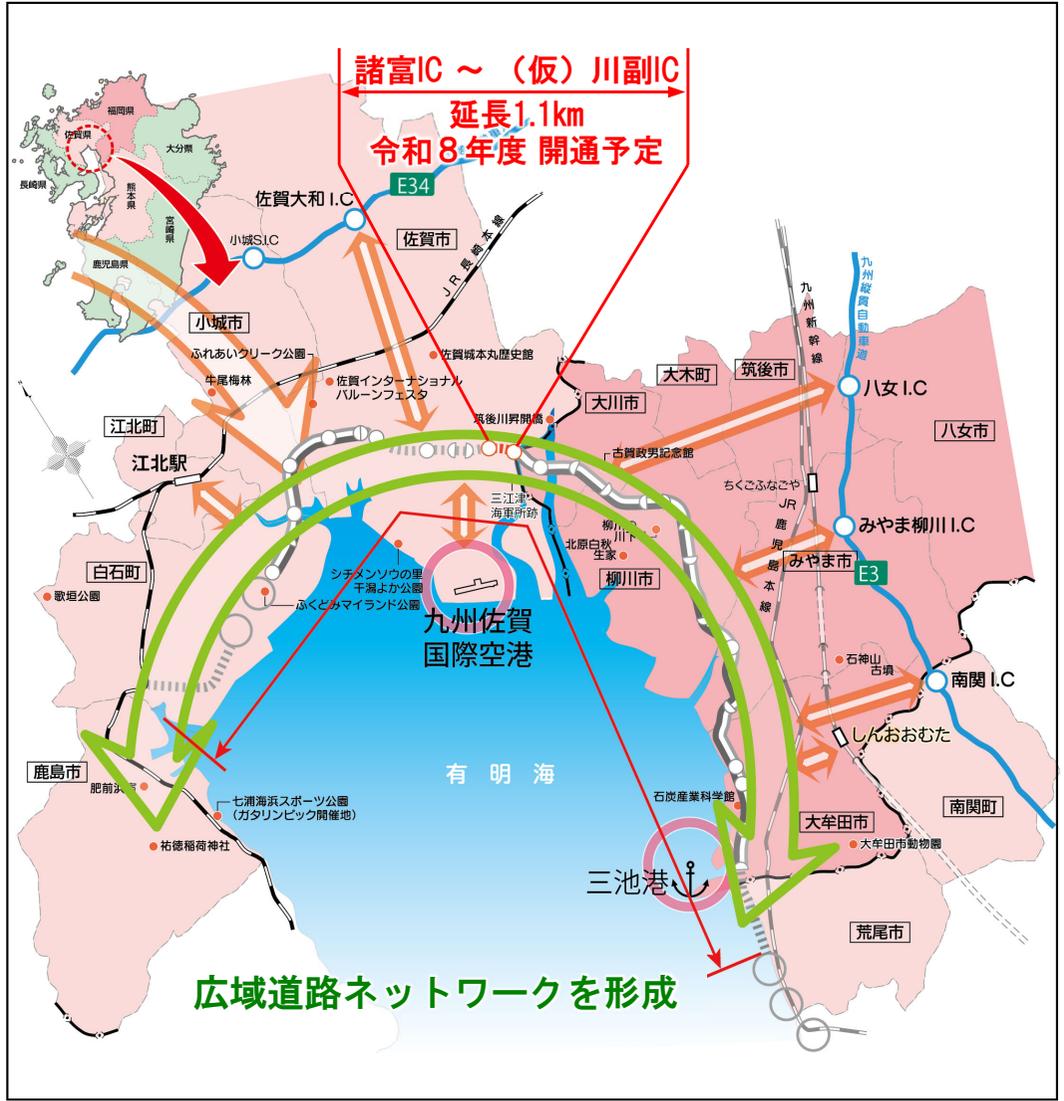
▲ 路線概要図



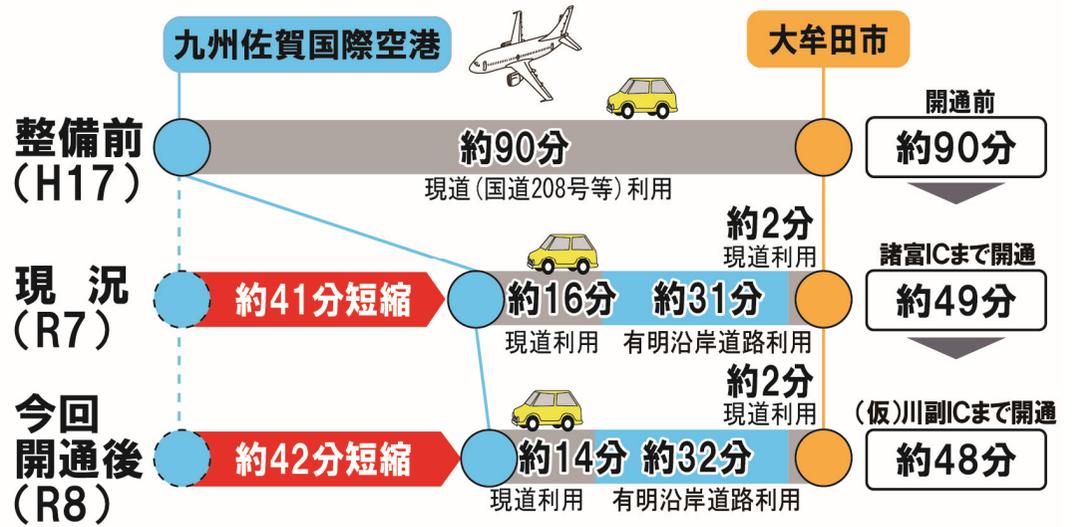
▲現在の整備状況(諸富IC～(仮)川副IC間)【令和7年3月撮影】

# 広域交通ネットワークの形成

- 有明海沿岸道路は、沿岸8都市間の連携・交流を促進し、沿岸地域全体の経済活性化を実現します。
- 本道路を介し、既存の高速道路(九州縦貫自動車道、長崎自動車道)や九州新幹線、三池港、九州佐賀国際空港間のアクセスが大幅に改善し、これらが一体となって「陸海空の広域交通ネットワーク」を形成し、更なる交流圏の拡大や物流の効率化が期待されます。



▲ 沿線地域と広域交通拠点の概況



※走行速度の考え方  
 ・整備前はH17全国道路・街路交通情勢調査の混雑時平均旅行速度 (km/h) で算出  
 ・現況はR3全国道路・街路交通情勢調査の混雑時平均旅行速度 (km/h) 、及び規制速度60km/hで算出  
 ・今回開通後はR3全国道路・街路交通情勢調査の混雑時平均旅行速度 (km/h) 、及び規制速度60km/hで算出

▲所要時間の変化(大牟田市～九州佐賀国際空港)

- ・大牟田の工場の方の出張で、かなりの人数の方が有明海沿岸道路を利用してリムジンタクシーで佐賀空港を利用されています。
- ・佐賀空港の勢力圏は大牟田や熊本県北部も含まれており、そこからの利便性が向上しています。
- ・大牟田市から福岡空港までのバスが廃止になったこともあり、車で佐賀空港を利用する方が増えています。

※佐賀空港関係者 ヒアリング調査 (R6.9)

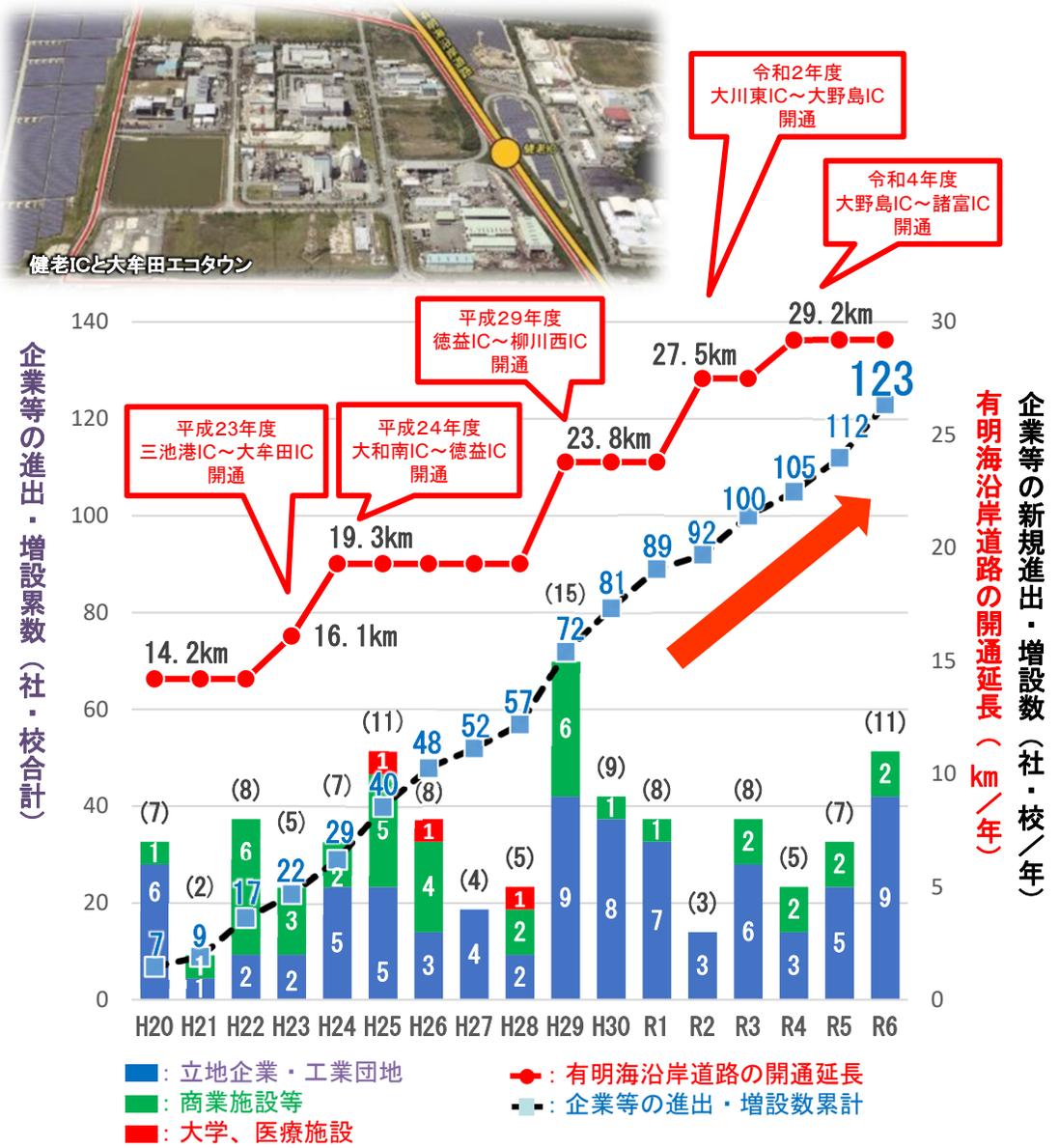


# 沿線開発の加速

- 有明海沿岸道路の沿線地域では、九州縦貫自動車道、九州新幹線等のアクセス性も良く、企業、商業施設、大学等計123社が新たに進出・増設しています。
- 今後、佐賀県側へ道路整備が進むことにより有明海沿岸地域間の利便性向上が図られ、さらなる沿線開発が期待されます。



▲企業立地の状況



▲有明海沿岸道路の開通延長と企業立地状況

- 佐賀平野では、豪雨等による浸水被害が頻発しており、洪水の際には広範囲にわたって被害を受けています。また、筑後川水系洪水浸水想定区域図において、旧諸富町・旧川副町はほぼ全域が浸水しており、大きな被害が予想されます。
- 有明海沿岸道路の整備により、浸水時の避難経路や災害時の人命救助活動や物資の輸送を行うための緊急輸送道路として機能されることが期待されます。



▲令和元年8月豪雨(佐賀駅バスセンター)



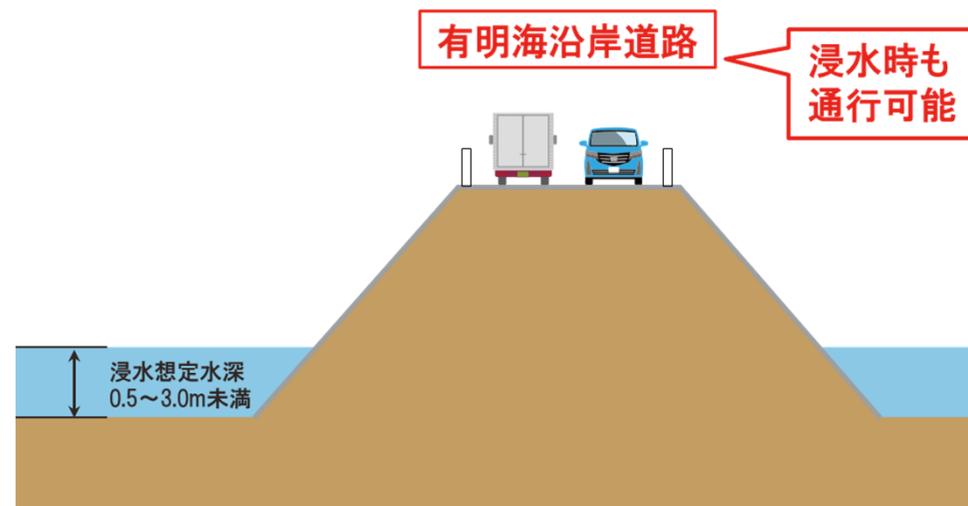
▲令和元年8月豪雨(JR佐賀駅前)



▲令和元年8月豪雨(国道208号) ※写真:佐賀市より提供



▲浸水想定区域図(想定最大規模) 資料：重ねるハザードマップ オープンデータ



▲浸水時横断イメージ図(諸富IC~(仮称)川副IC)